

事業実施主体等

事業名 : 効率的機械利用体系構築事業
 事業実施主体 : 埼玉県農業再生協議会
 事業実施地区 : 埼玉県〇〇市町
 事業実施年度 : 平成26~27年度 (目標年度28年度)
 対象品目 : 水稲、高収益作物 (ブロッコリー)
 事業費 : 〇〇百万円 (うち国費〇〇百万円)

事業概要及び効果

農業者A~Eがこれまで個々に行っていた水稲の田植作業 (田植機)、刈取作業 (コンバイン)、乾燥調製作業 (乾燥機) を、平成27年産から集担い手Aに一元化する。
 これにより、水稲の生産コストを1割削減 (26年産〇〇円/10a → 28年産〇〇円/10a)
 また、農業者B~Eは高収益作物 (ブロッコリー) の生産を行う。

助成金の活用状況

- ・ 農業者B (非担い手) が所有していた機械を補改修し、農業者A (担い手) に譲渡。(補改修1/2以内)
- ・ 農業者C~Eが所有していた機械を廃棄。(廃棄1台当たり2万円)
- ・ 全作業面積10haに対応するため、新たに高性能機械をリース導入。(機械リース: 1/2以内)
- ・ 農業者B~Eが共同で利用する育苗ハウス資材の購入 (育苗ハウス資材: 定額)、定植機をリース導入 (機械リース: 1/2以内)



取組前後の状況

取組前

〇〇市町〇〇地区 (水田)

農業者A(4ha)

農業者B(3.3ha)

農業者C(1.3ha)

農業者D(1.2ha)

農業者E(1.2ha)

- ・ 農業者A~Eで、①田植機、②コンバイン、③乾燥機を個々に所有。(計15台)



取組後

農業者A

水稲10ha

(移植~収穫・乾燥作業を集約)

- ・ 農業者Aが、①田植機、②コンバイン、③乾燥機を使用。(計6台 (再利用4台+新規2台))

農業者B~E

高収益作物 1ha

- ・ 農業者B~Eが、田植機、コンバイン、乾燥機を廃棄。
- ・ 育苗ハウス資材の購入、定植機をリース導入 (新規2台)